

可視化データ活用手法の検討 ～今後の活用に向けて～



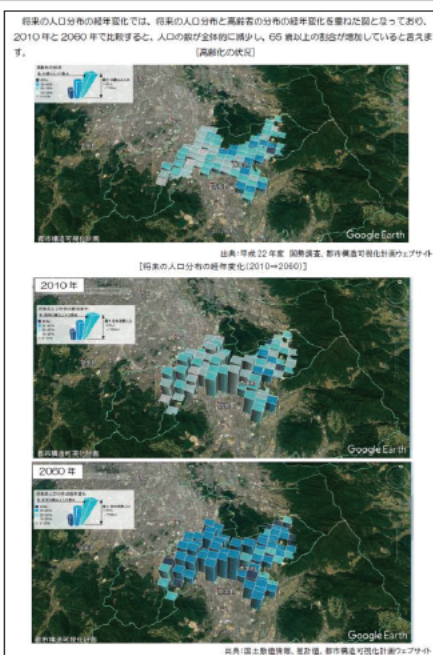
福岡県太宰府市

i-都市交流会議2022

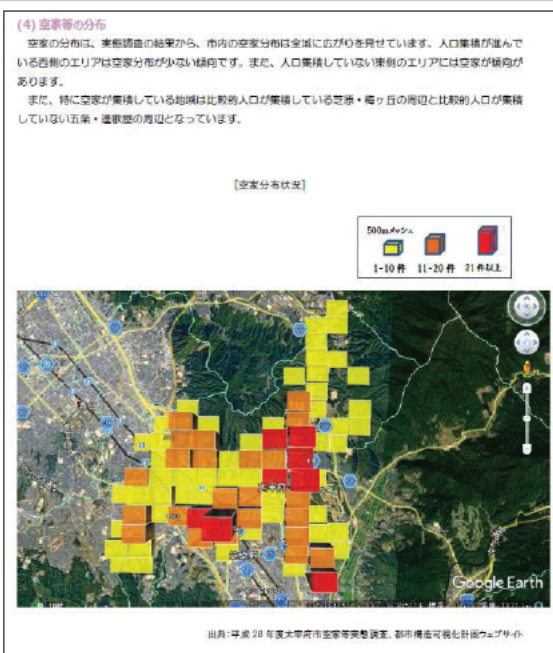
1

1.これまでの活用実績①

太宰府市空家等対策計画の策定（R2.3）に活用



○高齢化の状況・将来の人口分布の経年変化



○市内の空家分布状況

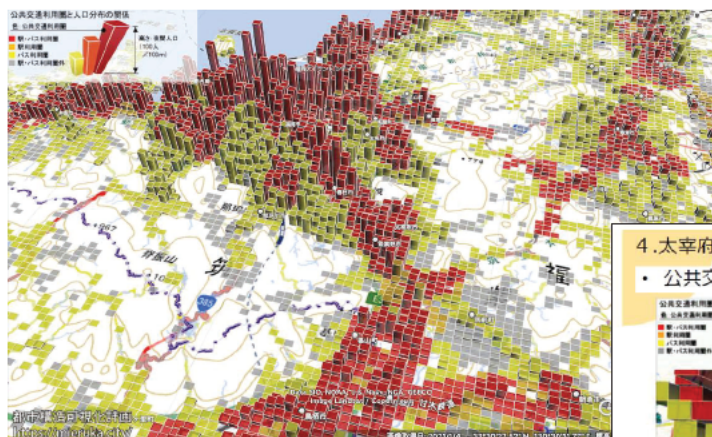
補注：都市構造可視化計画、©2018 ZENRIN、Google Earthを使用

i-都市交流会議2022

2

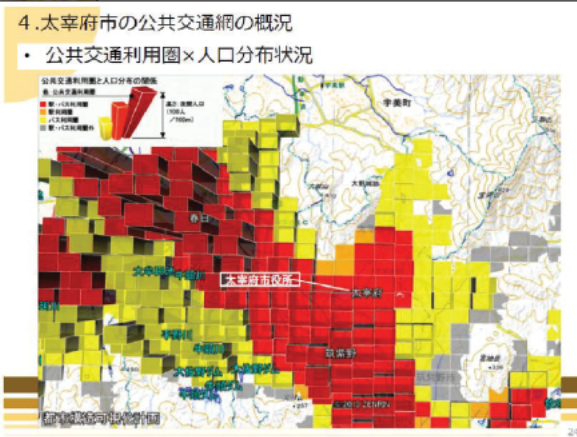
2.これまでの活用実績②

地域公共交通活性化協議会等における資料として活用



○広域的視点での検証

○会議資料としての活用

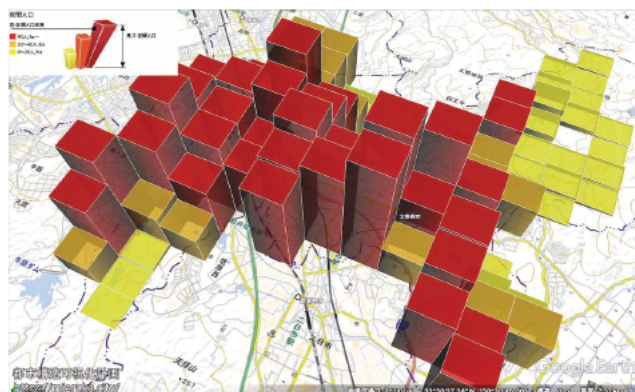


補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

3.可視化データの活用手法の検討①

夜間人口と昼間人口との比較（同指標間の比較）

○夜間人口



「市中心部から西側住宅団地」と「東南側住宅団地」が多い。一部が突出しているのではなく、住宅地にまんべんなく居住していることが分かる。

○昼間人口

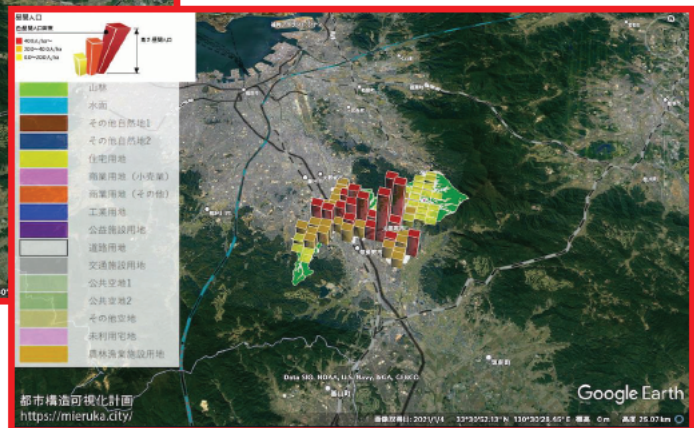
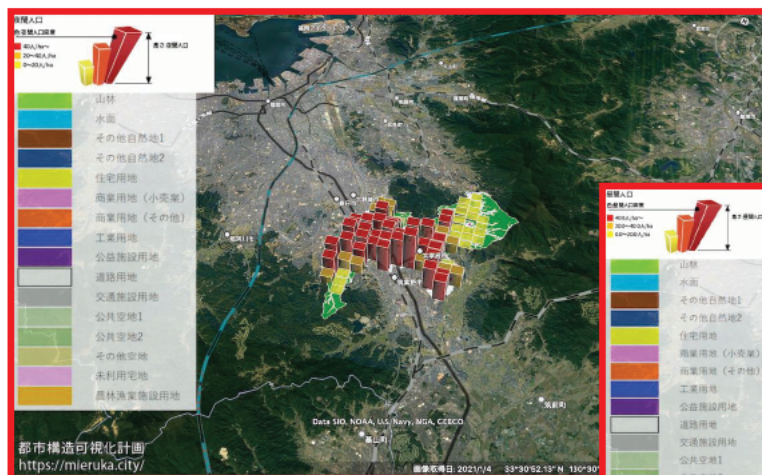


「市役所周辺」「君畑交差点周辺」「西鉄太宰府駅（太宰府天満宮）周辺」「西鉄五条駅周辺」が多い。業務地域、観光業地域において、昼間人口が集中していることが分かる。

補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

4.可視化データの活用手法の検討②

都市計画基礎調査との比較（指標の根拠調査）



都市計画基礎調査における「建物現況」「土地利用状況」と「夜間・昼間人口」を重ねることで、関連性を検証することができる。

補注：都市構造可視化計画、Date SIO,NOAA,U.S.Navy,NGA,GEBCO、Google Earthを使用

5.可視化データの活用手法の検討③

都市計画基礎調査を活用したまちなみ検証（調査結果可視化）



H24：建物現況



H29：建物現況

用途地域や高度地区の検討、景観まちづくり推進にあたっての気づき、課題抽出資料

H29：建物現況



補注：都市構造可視化計画、Date SIO,NOAA,U.S.Navy,NGA,GEBCO、Google Earthを使用

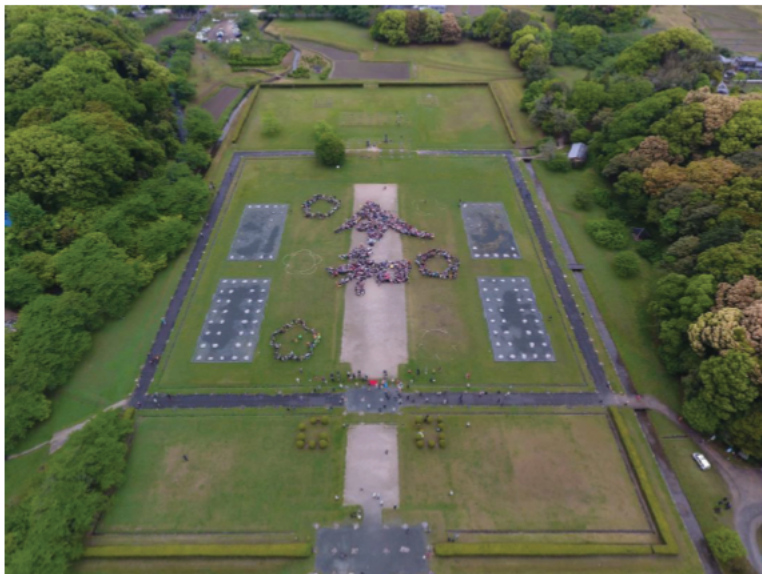
6. 今後の課題

今後の課題

- 国勢調査や都市計画基礎調査等の各種調査結果と、具体的に活用したい分野のデータを関連性があるものに加工する方法が難しい。
- 研修機器の貸与により3Dマウスが活用できているが、返却後は通常マウスでの作業となるため、作業効率が低下する恐れがある。また、KMLファイル作成方法が難しい。
- 市域面積に対してメッシュサイズ（500m）が大きいいため、より細かいサイズに設定できると、より分析ができる。

福岡県太宰府市PR

都市の紹介



大宰府政庁跡での「令和」人文字

令和発祥の都

「太宰府市」

PRキャラクター



「れいわ姫」「おとものタビット」
「旅人のたびと」